



校長室だより

黒部市立村椿小学校
文責：校長 寺島紀子
令和6年7月11日
第15号

気温も湿度も高い毎日が続きますね。校舎の周りのほとんどが足場でぐるりと囲まれている中、工事業者の共和土木さんの了解の下、グラウンドへの通路の上にミストホースを設置しています。休み時間後にミストシャワーを浴びている子がちらほら…。気持ちよさそうです。

空模様を見ながら学年ごとにプール学習も進めています。担任の授業のほか、特別講師の堀田悦子先生の水泳教室も開催し、学年の段階に合わせて楽しく学習を進めています。1学期もあと10日あまり。あと何回プールができるでしょうか…。

7/7(日)暑さの中でのそれぞれのチャレンジ

★交通安全子供自転車富山県大会 緊張の中で4人が頑張りました

第57回目の伝統ある大会が県運転教育センター（富山市高島）で行われました。黒部市代表として本校の5年生4名が出場しました。引率は教頭先生でした。4名はそれぞれ、これまで限られた日程の中で実技練習や学科の自主学習に取り組んできた成果を発揮できるよう、緊張しながらも精一杯本番に臨んだとのこと。ただ、残念ながら入賞は叶いませんでした。上には上があるものですね…。

選手の4人にとっては、「やるだけやった」という達成感と「もう少し」という悔しさが入り交じった気持ちかもしれませんが、校長の私としては、何はともあれ大役を引き受け、この1か月間大きな挑戦をしてくれた4人に感謝しています。4人にとってこの1か月間の取組がきっとかけがえのない経験になったものと信じています。お疲れ様でした！

選手4人にとっては、「やるだけやった」という達成感と「もう少し」という悔しさが入り交じった気持ちかもしれませんが、校長の私としては、何はともあれ大役を引き受け、この1か月間大きな挑戦をしてくれた4人に感謝しています。4人にとってこの1か月間の取組がきっとかけがえのない経験になったものと信じています。お疲れ様でした！

★荒俣海岸を皆できれいに…！ 黒部市内からボランティアが集まった清掃大会

さて、同日は村椿環境衛生組合主催の「第40回荒俣海岸清掃大会」も開催されました。地元住民の皆さんや黒部市社会福祉協議会、黒部名水会等からたくさんの方が集まりました。もちろん村椿小学校の児童も家族ぐるみで多数参加していました。活動時間は1時間余りでしたが、波打ち際の周辺にたまっているビニプラや缶、容器等、不燃ゴミを中心に各々拾い集めました。

大きな流木等は重機が入って回収するなど、大がかりな清掃大会でしたが、細かなゴミの仕分けはやはり人の手が必要な作業だと感じました。時折皆で声を掛け合いながら作業をすると人のつながり、地域のまとまりも感じられました。

ボランティアは自分から進んでやるもの、そしてやってみることで何より自分自身の心がスッキリとするものであるなあと改めて感じました。この日参加された皆さん、お疲れ様でした。荒俣海岸の素敵な自然をこれからも大切に…。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()



子供が主体的に学ぶ授業を目指して・・・

本校の教職員の研修のテーマは「自ら学び行動する子供の育成 ～自己決定する場を大切にしたい体験的な学習活動を通して～」です。10日（水）は5年算数科の授業を皆で参観し、研修を進めました。

小数のかけ算・わり算を使って文章題を解く学習でした。教科書の問題を基に、ワークシートの数直線に書き込みをしながら考えました。自力で取り組む時間が多くあり、また自然と子供同士で相談し合ったり、全体で考え方を確かめたりし、時間いっぱい濃い学習となっていました。

放課後の研修会で今回の成果と課題を整理しました。今後は他学年の授業についても研修を続けます。

シリーズ「教室におじゃまします」7/5(金)3年音楽科の巻

3年の音楽はわかば級担任の寺崎健太郎先生が担当しています。3年生になって取り組み始めたソプラノリコーダーも1学期のまとめの段階に入っています。この日はこれまで学習した「ソ・ラ・シ・ド・レ」の5音を使っていろいろな曲を演奏します。

寺崎先生は自分の手元を実物投影機で大きく映し、実演しながらポイントを確認していきます。教科書には「きれいなソラシ」「坂道」「雨上がり」と素敵なタイトルの小曲があり、それを皆で順に演奏していきます。以前音楽室をのぞいたときは「ピーッ！」と乱暴で大きすぎる音も聞こえましたが、この日の3年生は見違えるように上手になっていました。リコーダーの音色が静かに丁寧に、歌うように聞こえました。寺崎先生も思わず「大変よい！」と褒め、子供たちは嬉しそうでした。続く「ゆかいな木きん」も、決められたリコーダーのパートをバッチリ吹くことができました。

音楽が得意な寺崎先生は、さらに手書きの練習曲プリントを用意していました。「むすんでひらいて」や「ふるさと」、ベートーベンの第九「喜びの歌」も「ソ・ラ・シ・ド・レ」で演奏できるのですね。どの子も一生懸命でした。

後半は鍵盤ハーモニカの練習を少し、そして最後は子供からのリクエストで「Happy Song」と「茶つみ」を歌いました。いつもながら元気な3年生です。皆の音がよくそろい、チームワークもよく感じました。楽しかったです。

後半は鍵盤ハーモニカの練習を少し、そして最後は子供からのリクエストで「Happy Song」と「茶つみ」を歌いました。

いつもながら元気な3年生です。皆の音がよくそろい、チームワークもよく感じました。楽しかったです。

<おまけのひとりごと>「ボランティア」は元々「志願兵」の意味だとか。「自分から進んでする人」ということですね。そう言えば外国語（英語）の授業でも、「やってくれる人はいないかな」と言うときに“volunteer?” (Who wants to be a volunteer?) と言っていました。考えてみると「ボランティア」は「奉仕活動」とは真逆な考え方なのでは？とも思います。自分から進んでやるからには大いに楽しみ、自分が気持ちよくなれるといいなと思います。私の故郷でもある荒俣の海岸清掃ボランティア、楽しかったですよ！

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()